

私学経営研修会 ＜実施報告(概要)＞

68回目となる本年度当研修会は、6月6日(木)～7日(金)、福島県石川郡石川町・八幡屋において「教育のフロントランナーを目指す～新たな価値を生み出す経営戦略とは～」を研究のねらいに開催し、30都道府県から76名が参加した。

初日の開会式には鈴木正晃・福島県副知事が臨席し、内堀雅雄・福島県知事に代わり祝辞を披露した。その後は長塚篤夫・日本私立中学高等学校連合会常任理事・運営役員による講演Ⅰ、渡邊忠栄・株式会社八幡屋相談役による講演Ⅱを実施した。パネル・ディスカッションでは、森涼・学校法人石川高等学校・石川義塾中学校理事長・校長、鈴木康之・水戸女子高等学校理事長・校長、大多和聡宏・学校法人大多和学園理事長をパネリストに迎え、平方邦行・一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長がコーディネーターを務めた。教育のフロントランナーとして新しい価値を生み出すための経営戦略について提言がなされた。その後、参加者はリラックスした雰囲気の中、教育懇談会で交流を深めた。

今年度は参加者同士の交流を促進するため、意見交換会は2日にわたって実施した。「次代へのビジョンと経営戦略」「未来を創造する力を育む教育」「これからの教職員のあり方とキャリア形成」「私学の特色と情報発信」の4つの重点テーマについて各校が直面する諸課題について語り合い、経験と課題を共有した。研修プログラムの軸となる午後の学校視察では、地域に根ざした特色ある教育を実践し「文武両道」「グローバルリーダー育成」に取り組む学校法人石川高等学校・石川義塾中学校を視察し、今後の私学の経営戦略を考察する機会となった。

参加者からは「最新の動向を知ることができて良かった」(講演Ⅰ)「経営者としての行動力とリーダーシップに感銘を受けた」(講演Ⅱ)「各校の建学の精神に基づく経営戦略が参考になった」(パネル・ディスカッション)「新たなネットワークを構築できた」(意見交換会)「校長をはじめとする首脳陣の計画性と教育への深い理解が、先生方を安心して新しい手法へと導いているのだと感じた」(学校視察)と、各プログラムへ好評が寄せられた。

地元関係者の多大な協力のもと、私学の躍進を目指して企画実施した当研修会は、所期の目的を達成し成功裡に終了した。



研修会の様子。学校視察の参加率は約7割に上った。

○令和7年度私学経営研修会は下記の日程・会場で開催を予定している。

会 期 : 令和7年6月5日(木)～6日(金)

会 場 : ホテルニューオータニ鳥取 (鳥取県鳥取市)

視察校 : 鳥取城北高等学校 / 青翔開智中学高等学校